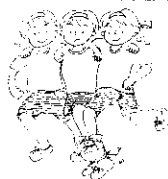


3人4脚



H 30. 7/2(月) 第4号
二宮西中学校学校だより
発行者:和田 智司

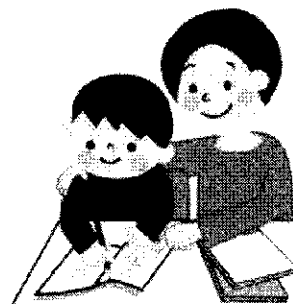
夏休みまでの出席日数・・・あと13日!!

～反省なくして進歩なし・・・今一度お子さんの取り組みをご確認ください。～

6/29(金)に観測史上最も早く、梅雨明けが発表されました。暑さも日ごとに増えています。1学期も残すところあと3週間となりました。学校に来るのもあと13日となった今、お子さんの様子はいかがでしょう。・・・いくつかの教科でテストの間違い直しの課題が出されていますが、この間違い直しを自主的に取り組むか・取り組まないか、あ

るいは課題をやらないか。それらの差は大きいと思います。まさしく“反省なくして進歩なし”です。今一度お子さんの取り組みを確認してみてください。

期末テストが終了してからすでに10日が過ぎ、子ども達は部活動に一生懸命取り組んでいます。先週の6/29(金)は壮行会が行われました。多くの部活動で、3年生にとっては中学校最後の大会となります。「練習は裏切らない」ことを信じ、さらに一層熱心に練習に取り組むとともに、その姿を後輩達に見せることにより、より良い部活動を目指してほしいと思います。



教育は共育である・・・子どもから学ぶ・子どもと学ぶ

毎日の学校生活において、色々なことを体験し、一つひとつを成し遂げながら子どもは、成長してきています。しかし、場合によっては、友人関係、学級の中での問題、部活動の中での問題など子どもによっては悩みを抱えることもあります。

わたしは、6月1日より277名の生徒全員との面談を始めました。1学期は1年生、夏休み中に3年生、2学期に2年生と面談を行います。すべての生徒の様子を見守りながら、一つひとつの問題に、**耳+目+心=聴く**ことを大切にしていかなければならないと思っています。・・・次に紹介するのは、1年生との面接を行うにあたって、「中学生になった今、頑張ってみたいこと」の質問に対して、1年生が記述したものの一部です。(子どもは本当に凄い・・・感動しました。)



- ・中学生になったので、自分でできることは自分でやろうと思う。今までは「上履き洗い」は、毎回お母さんにやってもらっていたけど、自分でやろうと思います。
- ・自主的に勉強して、テストでいい点をとりたいと思います。テスト前は、最低三時間は勉強をして、合計450点以上とりたいと思います。
- ・友達との関係も、仲良くなれるように友達に優しくしたいです。
- ・自分でしっかりと健康管理をして、なるべく学校を休まない強いからだにしていきたいです。
- ・部活動と勉強を両立させ、何事にも真面目に取り組む。自分だけでなく、友達のこととも考え、協力しながら楽しめるようにしたい。
- ・初めて挑戦する部活動や小学校の頃に少しだけやった委員会などを、休まずにしっかりと取り組みたい。

毎年、多くの場合1学期に教育実習が実施され、教師への夢を持った学生の方が母校に戻ってきます。今年度は誰もいませんでしたが、フレッシュな実習生を見て、自分自身とても新鮮な気持ちになることができます。

私も33年前、大学4年生の時に教育実習を経験しました。“初心忘るべからず”という言葉がありますが、その時指導していただいたことは今でも深く心に刻まれています。・・・「**教育は共育である**」・・・この言葉は、担当してくださった先生に教えていただいたのですが、特に印象に残っています。「教育は教え、育てることではなく、子ども達と共に、自分自身を育てることだ」ということを身をもって指導していただきました。



十数年前に伺った家庭訪問で、ある保護者の方が「私の心の支えとなっている愛読書です」と児童精神科医の佐々木正美先生が書かれた『ことばの玉手箱』という本を貸してくださいました。・・・その中の「教育」という項目の中に「教育者、保護者の使命は大きい。そのためには自分の善意の感情を育てること。・・・どうしたら育つか、それには人とのコミュニケーションをはかることである。声楽家が声帯を鍛えるように、心の共感性や共鳴箱を鍛えることである。」・・・心に響く一節でした。

それぞれの立場で、子ども達にできることを実践するとともに、自分自身を育てることにより、子ども達をしっかりと支援していきましょう。

心が変われば、行動が変わる。 行動が変われば、態度が変わる。

態度が変われば、習慣・人格が変わる。 人格が変われば、運命が変わる。

この言葉は、保健体育科の森浩太郎先生の机上有る短冊に書かれていた言葉です。・・・私が知っている、松井秀喜選手の星稜高校野球部時代の恩師だった山下監督の言葉である「**心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる**」と少し違っていたので、気になりインターネットで調べてみました。

【参考アドレス：d.hatena.ne.jp/niguruta/20120731/1343725653】

この言葉で検索してみるとこの言葉の由来については、説が複数存在している様子。・・・ヒンズー教、ウィリアム・ジェームズ、大村崑、清水英雄、山下智茂等・・・結論から言うとまだまだわからない事だらけである。

星稜高校野球場の一塁側ベンチには、学校の授業で使うサイズと同じ大きな黒板がある。そこには白、黄、赤の三色のチョークで様々な言葉が書き連ねてある。山下監督自らが書いたもので、「星稜野球」のエッセンスといっている。

松井は次のように述べている。・・・「山下監督には、野球だけではなく、人生の指針となるような言葉も教えてもらいました。高校時代には、あまり意味が分かっていなかったかもしれませんが、卒業してプロ野球の世界に入り、大リーグに入り、年を重ねていくにつれて少しずつ理解できるようになってきました。今も自分の心の中で輝く言葉です。」



i) 心→態度→行動→習慣→人格→運命→人生(ヒンズー教説)

ii) 心→行動→習慣→人格→運命→人生(ウィリアム・ジェームズ説)

iii) 自分→相手→心→態度→習慣→運→人生(大村崑説、1984年)

iv) 自分→相手→心→言葉→態度→人生→運命(清水英雄説『人生七変化』)

v) 心→意識→態度→行動→習慣→人格→運命(山下智茂説)

※先週の日曜日20年ぶりに映画館で妻と二人で「終わった人」を観ました。この映画を観ながら、本当に多くのことを考えさせられました。・・・映画の中で出てきた「**散る桜 残る桜も 散る桜**」という良寛和尚の辞世の句が今でも頭に残っています。・・・感謝の気持ちを忘れることなく、日々の生活を「**如何に生きるか**」ということの大切さを痛感しました。